



平成 27 年 7 月 23 日

第 5 回「ビジネス創造交流会」の開催について 産学連携支援～最先端の研究シーズをビジネスニーズに橋渡し～

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、平成 26 年 3 月に締結した九州大学との産学連携協定に基づき、平成 26 年 10 月より「ビジネス創造交流会」を開催しています。今回、第 5 回の開催概要が決定しましたので、お知らせします。

この交流会は、最先端の大学技術シーズと地元企業の事業者ニーズを結び付ける機会を提供し、産学連携を通じた企業の事業力強化、大学の学術研究の活性化及び当行中期経営計画に掲げる“地域との共栄”の実現を図ることを目的としています。

第 5 回の開催概要は下記のとおりですが、今後も 2～3 ヶ月毎の定例開催を予定しています。

記

◆概要

日 時	平成 27 年 8 月 28 日（金）16：00～18：00（受付開始 15：30）
会 場	NCB リサーチ&コンサルティング セミナー室 （福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座西銀ビル 13 階 TEL092-282-2662）
テ ー マ 発 表 者	テーマ：「再生可能エネルギーによる循環型社会の確立と地方創生」 ～捨てられていた資源を地域の宝に～ 発表者：九州大学 農学研究院 教授 矢部 光保 氏
プログラム	① 16：00～16：10 主催者挨拶 ② 16：10～17：00 講演&討議 ③ 17：00～18：00 交流会（質疑応答、懇談会）
主 催	西日本シティ銀行、九州大学、NCB リサーチ&コンサルティング
定 員	30 名程度 ～事前申込みが必要です～（応募多数の場合は抽選）
参加費	無 料
対 象 者	本テーマに関して、自社単独では研究開発等が困難な事業者の方で、九州大学との共同研究・委託研究等にも関心があるお客さま（新規先可）
お申込み 方 法	①氏名、②会社名、部署・役職名、③電話番号、④メールアドレスをご記入の上、8 月 21 日（金）までに FAX または e-mail にてお申込先に直接お申込みください。 （制定のお申込用紙はありません。） <お申込先> 九州大学産学官連携本部 企画グループ <F A X> 092-832-2195 <e-mail> business@imaq.kyushu-u.ac.jp

以 上

本件に関するお問い合わせ先
地域振興部 柚木崎 TEL 092-476-2743

第5回ビジネス創造交流会のご案内

九州大学と西日本シティ銀行およびNCBリサーチ&コンサルティング共催の「第5回ビジネス創造交流会」を下記の通り開催いたします。

この会では九州大学やその他大学、研究機関の研究内容や研究成果を地元の企業様に解り易く解説し、セミナー後の懇談会では研究者と参加者で自由闊達な懇談を行っていただく時間を用意しております。

テーマは毎回異なった学術分野から事業化されやすいものを選択し、原則、隔月の開催を予定しております。

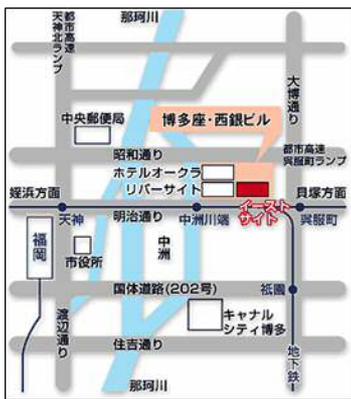
新規事業の開拓や業務の課題解決の参考にして頂けますよう、奮ってご参加ください。

日時

平成27年8月28日（金） 16：00～18：00
（受付開始 15：30～）

場所

株式会社NCBリサーチ&コンサルティング セミナー室
（博多座・西銀ビル13階）
〒812-0027 福岡市博多区下川端町2-1



参加申込

参加ご希望の方は、次の必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでお申し込み下さい。

（書式は自由）

- ①氏名
- ②会社名・部署・役職名
- ③電話番号
- ④メールアドレス

定員：30名（締切：8月21日、応募者多数の場合抽選）

参加費：無料

申込み先

九州大学学術研究・産学官連携本部 有嶋宛

Mail: business@imaq.kyushu-u.ac.jp

FAX: 092-832-2195

プログラム

1. 16：00～17：00 講演

テーマ

【再生可能エネルギーによる循環型社会の確立と地方創生】

～捨てられていた資源を地域の宝に～

講師：九州大学 農学研究院 教授 矢部 光保

<講演概要>

地方創生のポイントは、今まで顧みられなかった資源を、地域の宝として位置づけ、さらに再生可能エネルギーの視点からも活用していくことにあります。

皆さんは、これまでお金をかけて処分されてきた、生ゴミや汚泥、食品加工残渣や畜産廃棄物から、新たな価値が生まれることをご存じでしょうか。例えば、生ゴミや畜産ふん尿などは、発酵させ、堆肥として販売されていることは、聞いたことがあるでしょう。しかし、水分が多く含まれる食品加工残渣や汚泥、豚ふん尿などは、高い費用を掛けて浄化処理をするのが一般的でした。

そこで、私たちは、従来、浄化処理されてきた食品加工残渣や畜産廃棄物、生ゴミや汚泥などを原料として、メタン発酵によりバイオガスを製造し、バイオガスから電気や熱を供給するための社会システム確立のための技術開発の研究をしています。現在、固定価格買取制度による太陽光発電への支援は縮小方向に向かっていますが、バイオマス発電は依然として拡大方向にあります。そのため、生ゴミや有機性廃棄物は処理ではなく有効利用を行うことで、事業主体はより多くの利益を得ることができます。さらに、メタン発酵消化液は、化学肥料の代替物として販売することで、大幅に汚水浄化費用の節減が可能になります。

今回は、このような視点から、我が国における成功事例を紹介し、地方創生のアイデアとしてご提供したいと思っております。

2. 17：00～18：00 質疑応答、懇談会

問い合わせ先

九州大学 学術研究・産学官連携本部 有嶋 順一 TEL：092-832-2126
西日本シティ銀行 地域振興部 柚木崎 真 TEL：092-476-2743